

法人ニュース 会津

2024新年号 vol.343


<https://www.aizu-ho.or.jp> Mail:info@aizu-ho.or.jp

公益社団法人 会津若松法人会

〒965-0059 会津若松市インター西112

TEL 0242 (22) 5821

FAX 0242 (25) 3303

発行人 遠藤 久

編集 広報委員会



公益社団法人 会津若松法人会

会長 遠藤 久

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。あわせて様々な法人会活動にご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

この文章を書き始めましたら、襖がガタガタと音を出しはじめ大きな揺れで地震と気が付きました。スマホが緊急地震速報を伝える中、テレビを見ると能登半島地震・津波警報の文字と海岸の様子を写す映像から、怒涛のごとく押し寄せる13年前の東日本大震災の大津波を昨日のこのように思い出しました。

元日早々、わが社や我が家は防災について完璧なのか？と改めて問い直す必要を感じました。会員企業の防災力の強化をお願いするとともに、法人会として被災地への支援方法について早急に考えます。

令和6年は、政治・経済・環境・紛争など激動の年と予想されておりますが、何があっても乗り越える強い意志を会員の皆様とともに持ち続けたいと思います。

さて、昨年10月から消費税のインボイス制度が導入され影響が大きかったため、日本漢字能力検定協会から2023年の世相を1字で表す「今年の漢字」が「税」に決まったと発表されました。

インボイス制度導入を前向きにとらえ、事業者のこれから目指すものを明確にし、「電子インボイス」はもろろんのこと「デジタル（ペーパー）インボイス」導入の「さざ波」が「大津波」となり、経理DXの推進や働き方改革に対応するのみならず、環境破壊対策にも資することを願うものです。

そんな中、昨年12月6日に、国税庁の方針を受け会津若松税務署と当法人会は「デジタルインボイス・キヤッシュレス納付共同推進宣言」を致しました。法人会と税務署の共同推進宣言は、福島県はもちろん東北でも最初の取り組みです。宣言するのみならず、飛躍的な普及率の向上が生産性の向上として地域経済に貢献するものと考えます。

経営者団体である法人会の先進的な活動も大切ですが、公益法人の事業として「伝統と文化を守る会津鶴ヶ城清掃」等も大切な活動ですので、本年も役員の皆様

と協力してさらなる活動の輪が広がるよう努力してまいります。

本年も法人会活動に対して一層のご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様のご隆盛を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。



猪苗代町・十三日市（初市）

新年のごあいさつ



会津若松税務署長
板垣 直人

令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

遠藤会長をはじめ、会津若松法人会の役員の方々と並びに会員の皆様には、平素より税務行政の円滑な運営につきまして、深いご理解と多大なるご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。本年も、皆様との連携・協調を深めながら、税務行政の諸課題に取り組んでまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、間もなく令和5年分の確定申告の時期を迎えます。税務署では、本年も申告書作成会場をアピオスペースに開設いたします。2月16日から開設いたしますが、作成会場の運営については、新型コロナウイルス感染症の5類移行後における基本的な感染等対策を実施しつつ、ここ数年同様、会場内の来場者を一定にするため、「入場整理券方式」を導入します。

会員の皆様や従業員の皆様が、確定申告を行う際には、申告書作成会場に赴くことなく、是非とも、ご自宅等からスマートフォンや国税庁ホームページに掲載する「確定申告書等作成コーナー」をご利用して、e-Taxに

よる申告をお願いいたします。

スマートフォンを利用した申告では、マイナポータル連携により所得控除等のデータが自動入力できる対象が年々拡大されています。令和6年からは事業主が従業員の源泉徴収票をe-Taxを利用して税務署へ提出した場合、従業員の方がe-Taxを利用して確定申告をする際にマイナポータルと連携することで、給与所得の情報が自動入力されることになり更に利便性が向上しています。

なお、e-Taxで申告を行うには、マイナンバーカードが必要になりますので、取得されていない方はスマホからの申請又は、お住いの市町村で手続きをお願いいたします。

また、昨年12月に「デジタルインボイス・キャッシュレス納付共同推進宣言」を会津若松法人会と会津若松税務署で行い、税務行政のDXや事業者の業務のデジタル化促進に取り組むこととしております。この宣言をきっかけにe-Taxや年末調整の電子化、キャッシュレス納付、納税証明書のオンライン請求について、納税者の利便性向上と社会全体のコストを削減する観点から、会員の皆様には利用促進のご協力をお願いいたします。

令和5年10月から開始された消費税のインボイス制度につきましては、制度の定着に向けて、初めて消費税申告を行う事業者への記帳指導や申告書の作成指導などにも取り組んでまいります。

結びとなりますが、会津若松法人会の更なるご発展と会員企業のご繁栄、並びに、会員の皆様のご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

国税の納付は、簡単・便利なキャッシュレス納付で！

💡 キャッシュレス納付の 3つのメリット！

- ☑ 自宅やオフィスから納付可能！
- ☑ スマホやPCで簡単手続き！
- ☑ 現金管理の効率化！

各納付方法の詳細は、
国税庁ホームページを
ご確認ください。



選べる納付手段

振替納税

振替納税の申込をすることで、毎年の確定申告等に係る国税を口座引落により納付する方法です。

ダイレクト 納付

ダイレクト納付の申込をすることで、e-Taxから簡単な操作で口座引落により納付する方法です。

インターネット バンキング等

インターネットバンキングまたはATMから納付する方法です。

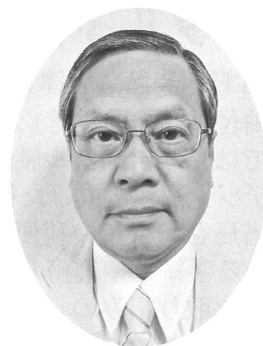
クレジット カード納付

インターネット上のクレジットカード支払の方法を利用して、「国税クレジットカードお支払サイト」から納付受託者に納付を委託する方法です。

スマホアプリ 納付

「国税スマートフォン決済専用サイト」から利用するスマホ決済アプリ(Pay払い)を選択し、納付受託者に納付を委託する方法です。

新年のごあいさつ



東北税理士会
会津若松支部長
吉原 裕二

新年あけましておめでとう
ございます。令和6年の年頭
に当たり、会津若松法人会の
会員の皆様に謹んで新年のお
祝いを申し上げます。

法人会会員の皆様には、平
素より税理士会の運営に格別
のご理解とご協力を賜り厚く
御礼申し上げます。

私たち税理士は、税理士法
第1条（税理士の使命）に則
して、税務に関する専門家と
して、独立した公正な立場に
おいて、申告納税制度の理念
にそって、納税義務者の信頼
にこたえ、租税に関する法令
に規定された納税義務の適正
な実現を図るため、日々の業
務に励んでおります。

また、国に対して「公平な
税負担」「理解と納得のでき
る税制」「適正な事務負担」
「時代に適合する税制」「透明

な税務行政」の視点から、毎
年、税制改正に関する建議書
を提出しております。

今年度、日本税理士会連合
会では、①中小企業の配当促
進税制の整備と役員給与税制
の見直し、②消費税の非課税
取引の範囲の見直しと軽減税
率制度の廃止、③基礎的な人
的控除のあり方の見直しと基
礎控除へのシフトの3項目を
「重要建議・要望項目」とし
て強く要望しております。

また、昨年10月から施行さ
れました消費税のインボイス
制度につきましては、事業者
の事務負担が過度とならない
よう適格請求書等保存方式の
見直しや課税売上高が一定額
以下の場合、納税者の選択
によって申告しなくても納税
義務が免除される制度の創設、
更には、免税事業者がインボ

イス発行事業者となった場合
に納税額を売上税額の2割に
軽減する3年間の激変緩和措
置の延長や恒久化又は追加的
措置の導入などを検討すると
ともに、中小事業者の実務の
状況を踏まえた柔軟な運用を
行うよう要望しております。

本年は、1月から開始され
る改正電子帳簿保存法やイン
ボイス制度下での初めての消
費税の確定申告への対応、更
には、税務行政、税理士業務、
事業者の業務のデジタル化促
進への対応など、難解な制度・
課題への取組が避けられない
年になるものと思われま

今後とも、会津若松法人会
並びに会員の皆様と十分に意
思疎通を図り、更なる連携・
協調を深めて様々な課題に取
り組んでまいりたいと考えて
おりますので、どうぞよろし
くお願いいたします。

結びに当たり、新しい年が
会津若松法人会の益々のご発
展と、会員の皆様のご繁栄の
年となりますことを心から祈
念いたしまして、年頭のご挨拶
とさせていただきます。

東北税理士会会津若松支部から

「税の無料相談会」 開催のお知らせ

東北税理士会会津若松支部では、社会貢献活動の一環として、2月23日（税理士記念日）に、税理士による「税の無料相談会」を開催することとしております。

相続税や贈与税、土地や建物の譲渡に係る税、消費税、その他確定申告に関わる税などのご質問・ご相談をお受けいたしますのでお気軽にご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から「電話予約による相談会」開催のため、相談をご希望される方は「電話による事前予約」が必要です。

開催日時 令和6年2月23日(金曜日、祝日) 午前10時～午後3時45分まで

開催場所 アピオスペース2階「税の無料相談会」(会津若松市インター西90)

予約受付 ☎050-2018-1150(東北税理士会電話予約受付センター)

※予約受付:令和6年2月8日(木)～22日(木) (土日祝日は除く)
午前9:30～午後4:30 (時間厳守)

予約の際に 必要な事項

- ①相談会場／「会津若松」を希望して下さい。
- ②相談開始時間／時間の希望を伝えて下さい。ただし、予約状況によっては希望に沿えない場合があります。
- ③氏名・携帯電話番号・住所を回答／匿名での相談はお受けできません。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等によっては、中止となる場合があります。

～税金について困ったときは、お近くの税理士に相談しましょう～

D X化推進の一步！会津若松法人会・会津若松税務署 デジタルインボイス・キャッシュレス納付共同推進宣言

12月6日、遠藤久会津若松法人会長と板垣直人会津若松税務署長が「デジタルインボイス・キャッシュレス納付共同推進宣言」を行いました。

当会では、「デジタル戦略委員会」を中心に、デジタルの専門家を招いての研修会を開催し、会員の業務のデジタル化に向けた機運の醸成に取り組んでいます

国税当局も納税者の利便性向上を重視し、申告手続きのオンライン化や事務処理の電子化など、国税にかかわる手続きや業務のデジタル革新を進めています。

こうした取り組みの一環として、デジタルインボイスとキャッシュレス納付の推進に更なる力を注ぐべく、法人会と税務署が共同で宣言し、デジタル社会の礎を築いていくことを誓い合いました。

遠藤久会長は「これはまさに未来への大きな一歩。デジタルの力で地域経済を加速させ、新たな展望を切り拓いていきます」と意気込みを語りました。

宣言式に先立ち、第3回デジタル戦略委員会が開かれ、会津若松税務署管理運営部門の佐藤勝巳統括官が「キャッシュレス納付の現状と推進について」、同法人課税第一部門の佐藤栄一統括官が「諸外国のデジタルインボイス」と題して講話したほか、会員事業所のDX化への取り組み事例の発表が行われました。



遠藤会長（前列左から2人目）と板垣署長（同3人目）

デジタルインボイス・キャッシュレス納付共同推進宣言 ～会津若松法人会・会津若松税務署 DX共同推進宣言～

会津若松法人会においては、デジタル戦略委員会を設立させ、各分野のデジタルの専門家を招くなどして研修会を開催し、会員の業務のデジタル化に向けた機運の醸成に取り組んでいます。

国税当局においては、納税者利便等の観点から「あらゆる税務手続きが税務署に行かずにできる社会」を目指し、申告手続きのオンライン化、事務処理の電子化等、デジタルを活用した国税に関する手続きや業務の在り方の抜本的な見直し（税務行政のデジタル・トランスフォーメーション）を進めています。

このように、私たちはデジタル化への共通認識の下、会津地域におけるデジタルインボイスを始めとした経済取引のデジタル化及び税務行政におけるデジタル化・キャッシュレス納付の一層の推進に向けて、共同して取り組んでいくことをここに宣言します。

令和5年12月6日

会津若松法人会 会長 遠藤 久
会津若松税務署長 板垣 直人

<確定申告書作成会場のお知らせ>

○ 開設場所：アピオスペース1階（会津若松市インター西90番地）

○ 開設期間：令和6年2月16日（金）～3月15日（金）《土、日、祝日を除く》

○ 開設時間：午前9時15分から午後4時

※ 会場内の混雑緩和のため、入場には「入場整理券」が必要です。

入場整理券は当日配付しますが、配付状況に応じて、後日の来場をお願いすることがあります。

なお、LINEを通じたオンラインによる事前発行も可能です。

※ 会場では、ご自身のスマホを使用して確定申告書を作成していただきますので、次のものをご持参ください。

・ スマホ

・ マイナンバーカード（発行時に設定した2つのパスワードを含む。）

※ 上記開設期間中は、税務署には確定申告書作成会場は設置していません。

※ 確定申告書作成に関する一般的なご相談は、「確定申告電話相談センター」でお答えします。

・ 電話番号 0242-27-4311

（音声案内に従って「0番」を選択してください。）

・ 受付期間 令和6年1月17日（水）～3月15日（金）

《土、日、祝日を除きますが、2月18日（日）と2月25日（日）に限り受付します。》

・ 受付時間 午前8時30分から午後5時

栄えある受賞おめでとうございます

令和5年度納税表彰

会津若松税務署長表彰

猪俣 道夫氏

(副会長／株米夢の郷)

優良申告法人に

対する表彰

株式会社

北越マテリアル様

(会津坂下町)

株式会社

ヤマト光学様

(会津坂下町)

※五十音順

日本経営品質賞 奨励賞

株式会社 保志様

(会津若松市)



DAI-ITSUMI

大同生命保険株式会社

謹賀新年

大同生命は、

「経営者保険のパイオニア」として、
これからも、みなさまに大きな安心を
お届けしてまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

郡山支社会津営業所/福島県会津若松市大町2-14-26(長谷川ビル3F)
TEL 0242-32-2442

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

AIG

謹賀新年

おかげさまで法人会の福利厚生制度ビジネスガードは、
本年創設 40 周年を迎えます！
ありがとうございます。

AIG損保 近くにいる。チカラになる。

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

北海道・東北地域事業本部 郡山支店

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町24-8 富士火災郡山ビル3階

024-933-6211 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)



2024

会津若松市

市長 室井 照平 氏



会津若松法人会では、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として公平で健全な税制の実現を目指して、税の提言活動を行っています。

『令和6年度税制改正に関する提言』の実現を強く求め、遠藤久会長と鈴木勝人税制委員長は11月17日、室井照平会津若松市長らへ提言活動を行いました。（提言内容は同封の「ふくしま県法連ニュース」または全法連ホームページ「税の提言活動」のコーナーをご覧ください
<https://www.zenkokuhojinkai.or.jp>）



行動する法人会

税制改正に関する提言活動！

菅家一郎衆議院議員

秘書 佐原 正純 氏



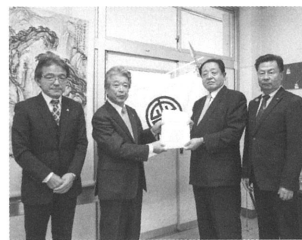
小熊慎司衆議院議員

秘書 廣岡 久 氏



会津若松市議会

議長 清川 雅史 氏



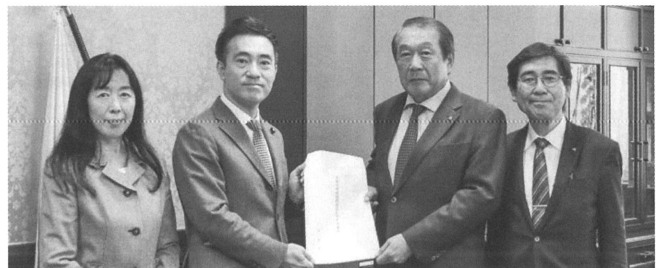
全国法人会総連合

全法連においても以下の関係機関等に対して提言活動を行いました

財務省

10月27日

財務副大臣 矢倉 克夫 氏



左から丸山税制副委員長、矢倉財務副大臣、飯野税制委員長、田中専務理事

国税庁

表敬訪問 11月30日

長 官 住澤 整 氏
 次 長 星屋 和彦 氏
 課税部長 田原 芳幸 氏

右手前から田原課税部長、住澤国税庁長官、星屋次長
 左手前から飯野税制委員長、小林会長、田中専務理事

このほか、自由民主党、公明党、立憲民主党、国民民主党、日本維新の会、中小企業庁、総務省へ訪れました。

新たな年がどうなるのか。経営者であれば変化の先を知りたいところであり、たどる新しい年の道筋の杖としていきたいところです。

陽明学の泰斗である安岡正篤氏は「干支の活学」で、干と支を組み合わせた60の範疇に従い啓示されていると記しています。



2024年の干支は甲辰(きのえ・たつ)。

甲はよろいで、よろいをつけた草木の芽が殻を破って頭を少し出したという象形文字で、旧体制が敗れ、革新の動きが始まることを意味していると説いています。

この自然の機運に応じて、旧来のしきたりや陋習(ろ

うしゅう)を破り、革新の歩を進めねばならないとされています。

また、辰の意味するところは、理想に向かって辛抱強く、かつ慎重に、いろいろな抵抗や妨害と戦いながら歩を進めていくことだとしています。

したがって、甲辰の2つの意味するところは、春ともなり新芽が古い殻から頭を出すものの、未だ余寒が厳しく、勢いよく芽を延ばすことができないように、抵抗や妨害が生ずることから、困難と闘う努力しながら、慎重に伸びていかなければならない年であることだと説いています。

昨今を振り返ると、2年以上にわたる新型コロナウイルスの猛威でワクチン開発が進むものの、新たな脅威ある変異株が出現するのではないかと国民の中に危惧がくすぶっています。

また、ロシアのウクライナ侵攻から2年を経ようとする最中、期せずして起きた中東での紛争の長期化も予想されています。

それらを起因として、輸入依存の我が国においては原材料やエネルギーコストの上昇から物価高が続いています。

賃上げは進むものの、物価高に追いつかず、実質賃金はマイナスが続き、国民生活の疲弊が伝えられています。

その国民生活を支援するために、政府は所得税減税や支援金給付を掲げていますが、これも多くを赤字国債発行に依存する内容で、先進7カ国では群を抜く長期債務残高はさらに一段と膨らむ様相です。

俯瞰すると、草木の芽が芽吹き始めたものの、直近の重みを背負い、勢いを欠きながらも、遅々とした歩みの年になりそうです。

ただ、甲辰(きのえ・たつ)の今年、ビジネスに携わるものとして着眼していただきたいのは、「旧来のしきたりや陋習を破り、革新の歩を進めねばならない」の言葉に秘められたことへの深掘りです。

今や、ビジネスに欠かせ

ないツールであるウィンドウズ(Windows)ですが、昨年11月からマイクロソフトが提供するAI(人工知能)サービスが搭載され、効率的な作業や資料の要約など、働き方を快適にする機能が付加されてきており、ビジネスに携わる者にとっては、「革新の歩を進める」ツールにもなっています。

まさにビジネスを激変させるものであり、旧来のビジネスの陋習を打ち破る革新ツールともいえる「甲辰の申し子」的存在に着目しておきたいところです。

さて、十二支である辰年を探っていきます。辰は十二支の中で唯一、架空の生き物です。権力の象徴であり、縁起の良い架空の動物ともされています。

株式相場の格言で「戌亥の借金、辰巳で返せ」と言われるように、辰巳年は景気が良く株価が上がりやすきことから、戌亥年でできた借金も取り返せるともされています。

ところで、辰年の過去に

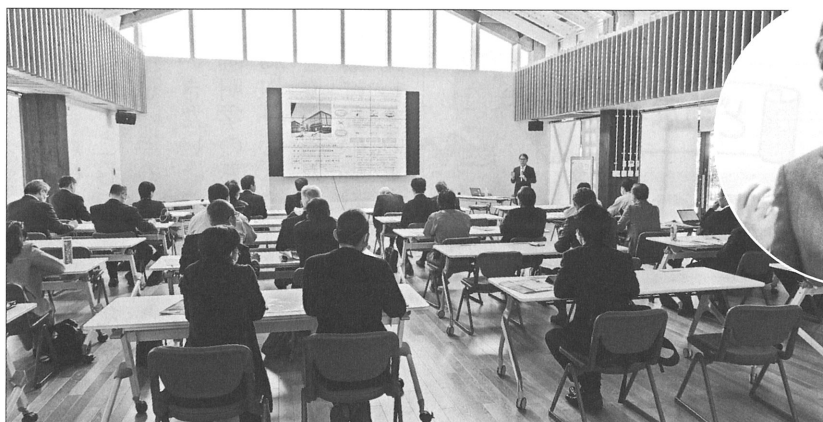
は何が起きていたのでしょうか。

辰年には、意外に大型建造物や幹線鉄道などが建設されていることに驚かされます。東海道新幹線(1964年)、青函トンネル・瀬戸大橋・東京ドーム(1988年)、都営地下鉄大江戸線(2000年)、東京スカイツリー(2012年)とハード面の整備や新造がなされています。

また、今年7月から渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎を肖像画にした新紙幣に切り替わりますが、我が国で初めて発行された2000円札も2000年の辰年に発行されています。

さらにさかのぼると、戊辰戦争(1868年)、日露戦争(1904年)と、旧来の枠組みが変わる事態も起きています。文化大革命を主導した毛沢東が死去(1976年)し、大国である中国が新たな歴史へと踏み出した変革の年であることも見逃せません。

新しい年が佳き年でありますようにと願います。



カメラ
レポート

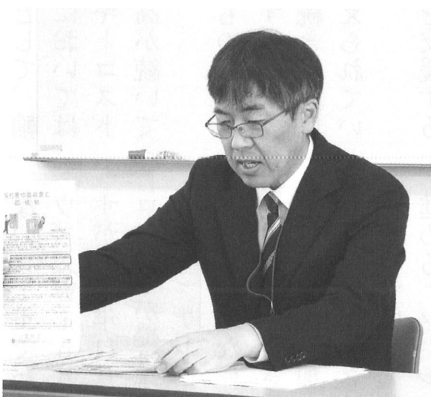


11/1 デジタル戦略委員会講話会(スマートシティA i C T交流棟)
新しいビジネスモデルの可能性について講話した三菱商事(株)
デジタルイノベーションセンター長・平竹雅人氏



11/18鶴ヶ城公園内 落ち葉清掃活動

11/24青年部会 いも煮会
(居酒屋 舞酒)



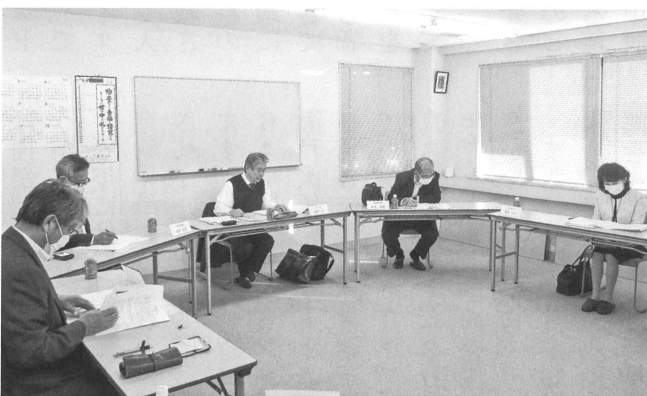
11/22新設法人説明会
(法人会会議室)



10/20県青連協「相双大会」
(Jヴィレッジ)



10/26県女連協「いわき大会」
(パレスいわや)



11/21研修・広報委員会合同会議 (法人会会議室)



11/21組織・厚生委員会合同会議
(会津若松ワシントンホテル)



11/11第13回親睦研修旅行（日光東照宮ほか）



12/8経理研究部会・青年部会 合同年忘れ会

11/15・16年末調整・インボイス制度説明会
(アピオスペース)12/8経理研究部会 労務セミナー
「労働契約書改正のポイント」(ホテルニューパレス)

被災地支援！
— 令和6年能登半島地震災害 —
この度の災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
当会では石川県へ義援金として1月9日に10万円を寄付いたしました。
長期にわたる復興が必要なおことから、今後も継続した支援活動を行います。



12/14決算説明会（法人会会議室）

12/13第2回正副会長会
(会津若松ワシントンホテル)

謹賀新年

今年も法人会の福利厚生制度の普及を通じ
会員企業の役員・従業員とご家族の皆様に
安心をお届けしてまいります
本年も何卒よろしくお願い申し上げます
令和六年



〈引受保険会社〉 **アフラック** 郡山支社
〒963-8005 郡山市清水台2-13-23 郡山第一ビル5F

法人会用フリーダイヤル ☎0120-876-505
受付時間/9:00～17:00(土日祝日除く)

自律型経営を目指そう

公認会計士

宮城大学名誉教授

天明 茂

はじめに

VUCA（V変動性・U不確実性・C複雑性・A曖昧性）の時代と言われる。何が起ころうともおかしくない、答えがない状況だからこそ、「社会の自浄作用」や「免疫力」と言うべきレジリエンス」が重要だ。キーワードは「自律」である。

2025年から「自律社会」に

オムロン創業者立石一真氏が今から50年前に国際未来学会で発表した「SINIC理論」（サイニク理論）が注目されている。これによると、100万

年前からの歴史を調べた結果分かったことは、今の時代は「工業化社会」に作ってしまった負の遺産を解消して、幸福度の高い理想的な「自律社会」に向かう途中にあり、自律社会に入るのは2025年からだろう。あと2年ほどだ。オムロン内部では当初、「2025年に自律社会に入るのは困難」「実際はもっと遅くなるのでは」と話し合っていたが、コロナ禍のおかげで理想社会に近づくのが早まり、この分だとオムロン創業者の予測通りになると考え直したと聞く。

「SINIC理論」によると現在は「最適な社会に向かう途中」にあり、破壊と創造を繰り返している混沌状態としている。工業化社会は「物質的に豊かになったが、地球環境の破壊や良心の希薄化などで心が満たされない社会。これに対して2025年から始まる「自律社会」は「自分がありたいと思う生き方を何の束縛も受けずに自らの価値判断で決め、実現させ、生きる歓びを享受できる社会」というから素晴らしい。

こんな理想的な「自律社会」を迎えるために経営をどう進化させていけばよいのだろう。本稿はこの自律型経営を、

A「企業の使命は社会課題の解決」、B「人体のような生命体組織の構築」、そしてC「人間力を磨き・引き出す」という3本柱に整理してみた。

■ A・本業を通じて社会課題を解決する

最近、企業規模の大小を問わず多くの企業が「社会課題の解決」を口にするようになった。

「本業を通じて社会課題を解決する」ことが企業の使命であるという認識が広まってきたことに希望が持てる。

私が今、注目しているのは、「本業を通じて社会貢献を目指す」若手経営者1000人が切磋琢磨している一般社団法人経営実践研究会（理事長・藤岡俊雄氏）である。

本研究会は2017年から「未来創造企業の認定」を始めた。

未来創造企業を「社会的価値、関係主体幸福度、社

会・経済的価値を創造すること、サステナブルな社会に貢献する企業」と定義する。

認定に当たっては、一般社団法人日本総合研究所の協力で作成した85項目に及ぶ「未来創造企業チェックリスト」を活用し、「地球」「社会」「地域」「顧客」「取引先」「従業員（家族）」「経営者」の7領域において未来創造企業の基準を満たしていることを評価する。

本紙が発行されるころには認証を受けた企業は120社を超えているだろう。その中の1社を紹介しよう。

（株）宮田運輸は大阪府高槻市に本社を置く。同社はトラック運送を中心とする物流業である。3代目宮田博文社長は社長就任から間もない2013年に自社のトラックが死亡事故を起こしたことから経営方針を一転。社員を100%信じて任せる「心の経営」に転換した。

ある運転手がダッシュボードに貼っていた自分の子供が描いた絵の「お父さん、いつもありがとう。あんぜんうんてんがんばってね」というメッセージに目を奪われた宮田社長はトラックの背面に子供が書いた絵とメッセージをラッピングすることを思いつく。

「こどもミュージアムトラック」と名付けた運動を始めてから事故は4割減。一般社団法人を設立して、今では海外まで賛同者が広がっている。

心の経営は役職を超えて誰でも参加できる「未来会議」となり良心が響き合う社会づくりを牽引している。

こうした企業が「あたらしい資本主義」の担い手になるにちがいない。

■ B…自律型の自走組織

社長が指示命令することなく、あたかも生命体のように自律的に自走する「ティール組織」は、いまや組織論の最先端と考えられて

いる。

小職が1年前から研究員として学んでいる「手放す経営ラボラトリー」は、社長の坂東孝浩氏が思うようにいかなかった自社の経営を「ティール組織」に転換した経験をもとに、社会システムデザイナーである武井浩三氏の協力を得ながら「手放す経営」の普及を業としている。

「手放す経営」を可能とする主な特徴は以下である。

a…情報の透明性…必要な情報に誰もがアクセスできる。会計情報もすべて公開だ。

b…力の流動性…上下関係を極力なくし、フラットな組織形態である。

c…全員に意思決定権…関係者に助言を求めることを前提に誰もが意思決定できる。

d…境界の開放性…働き方は自分で選択できる。競合しない他の組織との兼務も原則OK。

e…お金を自主管理…売上

高から一定割合の利益、株主配当、役員報酬を先取りし、残りの許容経費の中で人件費や経費を賄う。余剰が出れば分配される。

福岡市の産業廃棄物コンサル業の㈱Greenpop（川添憲二社長・社員40名）はの「手放す経営ラボラトリー」が提唱する上記a～eを忠実に実行し、1年足らずで見事な自律分散の経営に移行した。きっかけは2019年の火災事故だった。

復興に向けて自ら行動する社員を見た川添克子社長（現会長）は「そうか、自分が指示をしなくともみんな主体的に動けるんだ」と感激したという。

社長になってからずっと「自走・自創」する経営を目指していただけに、これを機に本格的にこの経営に切り替えようと研究を始めた中で「手放す経営ラボラトリー」に行きついた。

信頼している営業責任者に相談したところ賛同を得

たので一気に自走型経営に転換する決断をした。

それはピラミッド型の階層構造という古いOSから、フラットな自律分散型組織運営という新しいOSへのアップデートという感覚だったようだ。

他方、DX（デジタルトランスフォーメーション）の整備では、コミュニケーションツールとしてSlackを導入し、会計システムはFreeeというアプリに全面的に切り替えた結果、「売上から利益を先取りして残った経費で経営する仕組み」が導入された。また、あらゆる課題について「助言システム」を前提に誰もが意思決定できることとなった。

なお、同社のホームページには「Greenpopの新しい組織運営の仕組み」として詳しく紹介されているので、是非、ご覧になってほしい。中小企業における組織変革の格好のケースと言える。

■ C…人間力を磨き引き出す

これまで述べてきたABの実現は人間力、とりわけトップ層の人間力にかかっている。

私は人間力を「あなたでないとダメ」と言われる絶対的信頼性」と定義しているが、そのベースは人徳に他ならない。

誰でも自分しか果たせない天命がある。

それを知り、天命に生きている人は経営においても持続可能な社会という観点から社会課題解決に関心を向けるとともに、スタッフ一人ひとりの生きがいやウェルビーイングを常に念頭に置いている。

その心と姿勢がステークホルダーからの絶対的信頼に繋がっている。

年初に当たり、改めてわが社の存在目的を確認するとともに、自律型の経営を通して社会課題の解決を進めるべく人間力を磨き続けたいものである。

謹 賀 新 年




100th
ANNIVERSARY

代表取締役社長

笠 間 寿 次

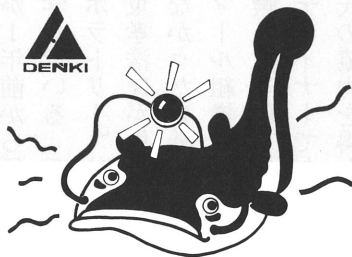
株式会社 会津タムラ製作所

〒969-6103 福島県大沼郡会津美里町字上村北27-2
TEL 0242-56-2911 FAX 0242-56-3730URL: <http://www.aizutamura.co.jp/>
URL: <http://www.tamura-ss.co.jp/>


代表取締役社長

松 岡 賢 二

会津オリンパス株式会社

〒965-8520 福島県会津若松市飯寺北3-1-1
TEL 0242-28-2111 FAX 0242-28-2117
<https://www.aizu.olympus.co.jp/>株式会社
会津電気工事

代表取締役

佐 藤 脩 一

〒965-0841 福島県会津若松市門田町大字日吉字小金井38番地3
TEL 0242-27-1460 (代) FAX 0242-27-1362

URL: <http://aizu-tsuumun.co.jp/>代表取締役
社 長 渡 邊 拓 也e-mail: takuya_watanabe@aizu-tsuumun.co.jp

會津通運株式会社

〒965-0052 福島県会津若松市町北町大字始字見島83番地
TEL 0242-22-4373 FAX 0242-25-0611

昭和13年創業 福島県知事 (17) 第50043号


 株式会社 会津不動産商会
Aizu Real Estate Agent Inc.
代表取締役 伊 東 邦 彦
Itoh Kunihiro〒965-0877 福島県会津若松市西栄町8番34号(葵高校正門前)
TEL (0242) 27-0318 FAX (0242) 27-0343
携帯 090-1936-8789 E-mail: area110@nifty.com

1871-2021
ADVANCE
150th

代表取締役社長

満 田 盛 護
Mitsuta Seigo

会津天宝醸造株式会社

■本社
〒965-8511 会津若松市大町1丁目1番24号
TEL 0242-23-1616 FAX 0242-25-4767URL: <http://www.aizu-tenpo.co.jp>

理事長

星

幹 夫

会津若松市馬場町二番十六号
〒965-0035
電話 〇二四二 二二一七五五
FAX 〇二四二 二四一八九六六

会津信用金庫



理事長

小 林 利 典

〒965-0037
会津若松市中央一丁目一番三〇号
電話 〇二四二 二二一六五五 (代)
FAX 〇二四二 二二一七〇八
<http://www.aizushinkin.co.jp/>

会津商工信用組合



代表取締役社長

四 家 邦 博

〒965-0005
会津若松市一箕町大字亀賀字郷之原二二四
電話 〇二四二 二四一二七二 (代)
FAX 〇二四二 二四一二七三

会津自動車工業株式会社

民間車検場

自治労、教職員共済、全労済 指定工場

(有)五十嵐自動車整備工場

代表取締役 五十嵐 正義

福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字フウケ33-1
TEL 0242-62-3325
自宅 62-2325
FAX 0242-62-3045



経営革新は自己革新から

TKCコンピュータ会計

有限会社 遠藤総合経営センター

代表取締役 遠藤 久

事務所 〒965-0046 福島県会津若松市八日町2番15号
TEL (0242)32-1960(代) FAX (0242)32-4644
E-mail: e@tkcnf.or.jp
URL: http://www.tkcnet.com/endouzeirishi



税理士法人キョロル

代表社員 / 税理士

鈴木 義文

SUZUKI Yoshifumi

〒965-0053

福島県会津若松市町北町上荒久田字鈴木152

電話 (0242)23-7145 携帯 090-9039-5321

FAX (0242)23-7146 E-mail gibun-5@kjc.biglobe.ne.jp



税理士法人キョロル

齋藤事務所

社員 / 税理士

齋藤 章一

SAITO Shoichi

〒969-6533

福島県河沼郡会津坂下町字台ノ下751-4

電話 (0242)85-6378 FAX (0242)85-6379

携帯 090-4559-6268



福島県知事許可(特定)第15852号

株式会社 佐藤電設

代表取締役 佐藤 春幸

(一級電気工事施工管理技士)
(一級管工事施工管理技士)
(一級土木施工管理技士)



本社 〒969-6551 福島県河沼郡会津坂下町字館ノ下103番地1
TEL (0242)83-0043(代表)
FAX (0242)83-0086
E-mail: wildsato7.5@sato-densetsu.co.jp
喜多方営業所 〒969-3512 福島県喜多方市塩川町字東栄町一丁目5番地9
TEL (0241)27-4005
FAX (0241)23-5795



株式会社 会和工務店

福島県知事許可 特・般・28 第15628号

代表取締役

内川 健一



〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北1丁目7番地
TEL 0242-58-3388(代表) FAX 0242-58-3390

社員の和 お客様との和 地域社会との和 を大切にします

清酒



エイ セン

榮川酒造株式会社

取締役社長

成田 恵一

〒969-3302

福島県耶麻郡磐梯町大字更科字中曾根平6841-11

電話 0242-73-2300 Fax 0242-73-2586

携帯 080-1853-0948 E-mail: k-narita@eisen.jp

URL http://www.eisen.jp/

QR Translator



伝承された日本の美と心を伝える



仏壇・仏具・位牌の総合メーカー

株式会社 小野漆器店

代表取締役 小野 隆市

本社 福島県会津若松市インター西56番地の4
☎965-0059 電話 (0242) 24-4040(代)
FAX (0242) 37-2862

~大正13年創業~
小島工業株式会社

取締役会長

小島 英一

本社 〒965-0042 会津若松市大町二丁目6-22
工場 〒969-6586 福島県河沼郡会津坂下町坂本字滝坂ノ上900
TEL: 0242-83-4020
FAX: 0242-83-1124
E-mail: koji3.eddy@siren.ocn.ne.jp
関東営業所 〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-8-28
TEL: 048-497-1350
FAX: 048-497-1530

ISO9001 ISO4001 認証取得



佐久間建設工業株式会社

〒969-7406

福島県大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平687番地

Phone: 0241-52-3111/Fax: 0241-52-3320

E-mail: iwao-s@sakuma-k.co.jp

URL https://www.sakuma-ci.com

代表取締役 社長

佐藤 岩男
技術士(建設部門)

謹 賀 新 年



TAKEDA
general hospital

- 竹田総合病院
- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 地域リハビリテーション広域支援センター
- 臨床研修指定病院
- 日本医療機能評価機構認定
- 山鹿クリニック
- 芦ノ牧温泉病院
- 介護老人保健施設エミネス芦ノ牧
- 介護福祉本部
- 竹田看護専門学校

理事長

竹 田 秀

TAKEDA SHU

一般財団法人 竹田健康財団

〒965-8585
福島県会津若松市山鹿町3-27
Phone : 0242-27-5511 Fax : 0242-27-5670
E-mail : UHG05003@nifty.com
携帯 : 090-3968-2118
URL : http://www.takeda.or.jp



鶴城みず・キンタカサゴしょうゆ

会 社 高砂屋商店

代表社員 桑 原 勇
社 長

〒969-6539
福島県河沼郡会津坂下町宇古市乙141
TEL (0242) 83-2032
FAX (0242) 83-0424
URL http://www.kintakasago.com/
E-mail isamu@kintakasago.com



代表取締役社長

新 井 田 傳

Tsutae Niida

花春酒造株式会社

〒965-0065
福島県会津若松市神指町大字中四合字小見前 24 番地の 1
TEL 0242-22-0022
FAX 0242-37-2100
URL http://www.hanaharu.co.jp
E-mail hanaharu@hanaharu.co.jp

NZR 株式会社 野尻金属



エコアクション21
認証登録番号0002522

代表取締役

社 長 野 尻 勝 志

本社・会津事業所 〒969-6207 福島県大沼郡会津美里町字美里21
TEL 0242-55-0071 FAX 0242-55-0072
川崎事業所 〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町6-4
TEL 044-333-1105 FAX 044-355-9958
https://nzs.co.jp/



この名刺は開校材を活用しております。



株式会社 マコト精機

冷間ロール成形機および付帯設備の設計製作
機械及び電気制御の設計製作、メンテナンス

代表取締役

古 川 信 吾

福島県会津若松市河東町広田字塩新237番地
〒969-3471 TEL (0242) 75-2828(代)
FAX (0242) 75-3302(営業・技術)
URL : https://www.makotoseiki.co.jp
E-mail : furukawa-e@makotoseiki.co.jp



Rhythm & Balance

会長 星 貴
Motomu Hoshi

代表取締役 星 賢一
Kenichi Hoshi

坂下電子光学株式会社

■本社工場 〒969-6541 福島県河沼郡会津坂下町字四十石348-1
TEL 0242-83-3821 FAX 0242-83-4778
E-mail: kenhoshi@bangedenshi.jp http://bangedenshi.jp

代表取締役
高 橋 達
たか はし

敢 すすむ

〒965-0878
会津若松市中町2番85号
TEL (0242) 26-5511 (代)
FAX (0242) 26-5512
携帯 (070) 5321-5514
E-mail : s_takahashi@marutomi.co.jp

マルトミ商事株式会社

早戸温泉・つるの湯

早戸温泉つるの湯企業組合

代表理事

佐久間 源一郎



源泉かけ流し・天然薬湯100%
千二百年の名湯が日帰り温泉
湯治施設、食堂も完備
飲泉療養にも適合しました

〒969-7406
福島県大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平888
TEL 0241-52-3324 FAX 0241-52-3324



2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局

2022年度
優秀企業賞
工業経済産業省
東北地方整備局



健康経営優良法人
Health and productivity



AIZUDOKEN

代表取締役

菅 家 忠 洋

会津土建株式会社

〒965-0873
福島県会津若松市追手町
五五〇
F 電話 (0242) 26-5511
A X 話 (0242) 26-5512
(070) 5321-5514
二〇二六

i-Construction

紙 丸善商事株式会社

代表取締役社長

武 藤 公 一

本社 〒965-0027 福島県会津若松市花畑東3番20号
 Tel. 0242-32-2111(代表) Fax. 0242-32-2131
 携帯 090-2277-8520
 E-mail: muto@pax-maruzen.com

非木材紙を使用しています 

Maruka Aizu
 Fruits and Vegetables

代表取締役社長

鈴 木 新

Arata Suzuki

これからも、会津で刻みたい笑顔の歩み。

丸果会津青果株式会社

会津若松市公設地方卸売市場

〒965-0006 会津若松市一箕町鶴賀字船ヶ森東480



さすけねえ



代表取締役社長

片 平 忠 秀

Katahira

Tadahide

山平会津若松青果株式会社

会津若松市公設地方卸売市場
 〒965-0006 会津若松市一箕町大字鶴賀字船ヶ森東480番地
 TEL. 0242-25-2111 FAX. 0242-22-1711
 E-mail yamahei@green.ocn.ne.jp



取締役会長

天 野 俊 彦

赤べこ養蜂の地
会津柳津町

ENVIRONMENTAL CREATION
会津測量設計株式会社

一般社団法人 福島県測量設計業協会
 本社 〒969-7209 福島県河沼郡柳津町大字細八字下平22
 電話 (0241) 42-3387番
 FAX (0241) 42-3430番
 Eメール: info@yanasoku.co.jp
 URL: http://www.yanasoku.co.jp/

発展と地域社会のために。

株式会社 弓田建設

代表取締役 弓 田 八 平



本社 〒965-0057 会津若松市町北町大字藤室字藤室721-1
 TEL. 0242-32-0311 FAX. 0242-24-0087
 郡山営業所 〒963-8833 郡山香久池2丁目10-13
 TEL. 024-973-8355 FAX. 024-973-8356
 URL http://www.yumita.co.jp



山本商事株式会社

代表取締役 山 本 真 一

〒965-0059
 本社 会津若松市インター西29番地
 TEL (0242) 24-4561(代)
 FAX (0242) 25-0956
 E-mail shinichi-yamamoto@ysa.co.jp

ひとの和で美しい環境を Together With Human Beings

渡部産業株式会社



代表取締役

渡 部 寛 規



JQA-QM8469

【本 社】福島県耶麻郡猪苗代町字芹沢4040 (〒969-3101)
 TEL 0242-62-2166 FAX 0242-62-3991
 【砕石・産廃プラント】猪苗代町字新狩野1676 TEL 0242-64-2656

RESONAC

東長原事業所長

西村 智文

株式会社レゾナック

福島県会津若松市河東町東長原字長谷地111
 TEL:0242-75-2121 FAX:0242-75-2962
 E-mail:nishimura.tomofumi.xhowb@resonac.com
 URL:https://www.resonac.com

SIGMA

第16回 税に関する絵はがきコンクール 入賞作品

会津若松法人会長賞



川南小 若林 友都

女性部会長賞
県法連女性部会連絡協議会銀賞
東北六県法人会連合会優秀賞



松長小 秋山 友希

会津若松税務署長賞
県法連女性部会連絡協議会特選
東北六県法人会連合会
福島県法連女連協会会長賞



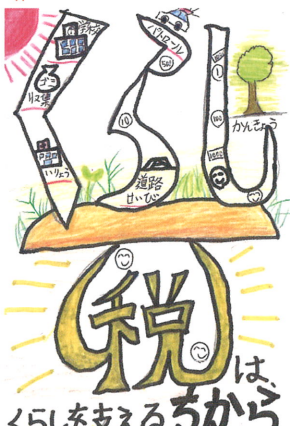
笈川小 角田 渚紗

入賞
県法連女性部会連絡協議会金賞
東北六県法人会連合会優秀賞



河東学園 高木 里紗

青年部会代表世話人賞



小金井小 板橋 歩叶



一箕小 五十嵐友姫花



一箕小 吉川 龍太



一箕小 齋藤 真優

女性部会では法人会事務局において11月7日、第16回税に関する絵はがきコンクール的一次選考会を開きました。同コンクールは次世代を担う子どもたちに税金について理解と関心を深めてもらうと毎年実施しており、会津若松税務署管内の小学校25校から659通の応募がありました。

会津大学短期大学部デザイン情報コースの北本雅久講師が選考委員長を務め、会津若松税務署の板垣直人署長、佐藤栄一法人課税第一部門統括官、土屋みよ子女性部会長らが審査し、税務署長賞などの入賞10作品と佳作30作品を選出しました。(佳作は会津若松法人会ホームページにも掲載しています)



謹教小 立川 隼翔



柳津小 渡部 葉帆